

## 夢窓幼稚園通信第22号

2019年6月28日

たんぽぽの根って、長いものでは50cmも1mもあるそうです。

何としっかりと根づいているのでしょうか！大地の深くからの恵みを得ているから、たんぽぽの根は葉にのったりコーヒーとして、同じ大地を生きる人の身体にも力を与えてくれるのかもしれません。

登園するなり青バッチさんが水をあげて見守り育てているおじぎ草の根は、ひょろひょろとしていますが、それはそれで柔らかく生きる茎や葉に見合っているのでしょうか。

小高い丘にのぼり景色を眺めると、街の様子が普段と違って見えてきます。

大地からみどりが湧き出ている……そういう風景を作り出している働きの方に気づかされます。

母なる大地から地上に向かって、地の冷氣と乾気が働きかけをすると、植物はみどりの葉や芽をひろげ、やがて花を咲かせます。

水と風が働きかけます。

おひさまの光がふり注ぎます。

冷氣と乾気、熱気と湿気とが様々に作用し、お互いに働き合い、地球の表面は夏ゆたかをみどりに履かれるのでしょうか。

高い丘からの風景の中に、そんな地水火風の働きドラマが見渡せます。

そして私たちは その中で生かされていますが、  
その4つの働きに深く心に向けると、自分の内にも  
植物をゆたかに繁らせる力が、いのちの力として  
同じように働いていることが感じられます。  
大地の上では4つの力は目に見えるかたちを伴って、  
私たちの内側では目に見えない生命力として波打って  
います。

丘の上の風景から 人間存在に思いがゆくと、その  
景色が内なるものとして思えてきます。  
「私」の身体は私の肉体として内側にあるのと同時に  
外なる世界も私の身体のような気がしてくるのです。

世界も 人間も 魅力的で 讚美に値しますが、今の  
時代 内なる身体も 外なる第二の身体も 愉しを  
求めているのかもしれませんが。

七夕 … 天空に思いを寄せるとき、心は星々の世界  
に向かいますが、同時に大空が私の身体であるのを  
実感するときであるのかもしれませんが。

私たちは 今年 空を見上げ 何を願うのでしょうか。  
今年の夏を内なる私として、外なる私としてどのように  
生きるのでしょうか。

さあ、いよいよ 7月。今年の折り返しです。  
子どもたちは 今日も 素敵に輝いています！  
そんな今の瞬間を、子どもたちが ゆたかに生きる  
30年後の社会をも 自分の身体と思ってこの夏を  
過したいと思ひます。

私の中の 宇宙的ないのちの働きを感じながら ……!

園長 弁光 泰雄